

Railroad Model R の弊社に対する Twitter 投稿に関しまして

影響が大きいのでご報告させていただきます。

当店は企業です。全て予算有りきで企業活動しております。

大阪店も、稼働率、売上予測、減価償却、各リスク、キャッシュフローなど継続経営に必要な情報を精査・シミュレーションをして開業しております。

逆に言えば、これだけの稼働率・売上予測ならばここまで経費が捻出できると。それから運営リスク等を加味しシミュレーションの繰り返しで、経営判断がされます。

企業はすべて予算で動いています。想定される売上も利益も、すべては予算組みから始まり、最初の費用（予算）を正当に使うことで発生します。

当該事件の京都駅も見積書をもって制作依頼しました。作っていくうちに増額したいと要望があり承諾し、その新見積り額を入金しました。納期も守られず作業が進みそろそろ完成するかの時に、当初見積りの倍額近いの追加請求がきた。頼んでない物が作られているようで、明細を出すよう依頼。しかし、何にどれだけの費用がかかったか不明。作っていくうちに楽しくなったのか勝手に暴走し依頼してない物まで相談なしで作り結果を請求された。相談がなかった上、明細がブラックボックスすぎるのももちろんお断りしました。現状、当初依頼していた京都駅も未完成のままです。

折衷案を話し合いで解決したかったが、相手方が着信拒否。その後、相手方弁護士と話すことになったが…弊社への請求額より弁護士への交渉依頼費用の方がだいぶ高いはずなので、相手方弁護士との話し中で、

・相手方の費用対効果が意味不明だが依頼主を説得した方がよいのでは？と相手方弁護士に提案。

・継続だったので、そのまま弁護士と話したがラチが開かず。

・お節介だが、相手も2~3か月過ぎると弁護士交渉依頼にも追加費用がかかることと、相手方弁護士も早く事務処理に移行したい旨、こちらの提案として、裁判制度を利用し公平な判断をした方がよいのではと提案。裁判制度を利用することで相手方も理解できるだろうし、裁判所の判断なら納得するだろうと結ぶ。

そんなやりとりを相手方弁護士と数回したまま継続なのか不明のまま。

当店は企業・会社です。

千差万別な意見やSNS等の悪口は言われても一個人の貴重な意見として見ております。店舗、企業である以上、悪口はあってしかるべきです。しかし今回の相手方のTwitterによる幼稚な攻撃は悪意があり会社の名誉を著しく毀損しているため対処すべきか検討致します。

反面、幼稚な一意見として静観し、レイアウト作りに時間を使う方が皆様から得た利益を正当に使うことにもなります。皆様にご来店頂き、今後も得た利益をメンテナンスやレイアウト改修・拡大に費やす方が正当な利益の行使であろうと。もちろん企業としてリスクを回避し継続経営するため利益を一部内部留保します。特にコロナ禍などのリスクが発生している時は重要なファクターとなります。

～結び～

皆様には大人の判断をもって静観をお願いしつつ、政治、経済、社会、芸能すべての報道・情報に対し一部の内容で一喜一憂するのではなく、また昨今問題となっているSNSの無責任な投稿に対し社会通念上、責任が問われる時代になっている事を念頭に、有意義にSNSを楽しんでもらえればと思います。

せっかく起きた問題ですので、皆様には、誤った情報を元に投稿した事で取り返しのつかない責任を負う事と紙一重である事を身近に感じ、ご理解いただければ幸いです。

以上。

株式会社 Re-Color 代表取締役 田沢 秀一
2021年4月29日